

近畿大学病院リハビリテーション部で慢性閉塞性肺疾患に対する治療を受けられた  
患者様・ご家族の皆様へ

近畿大学病院リハビリテーション部（以下、当科）では、「慢性閉塞性肺疾患患者における横隔膜変位量と脊柱起立筋との関連 ～後ろ向き観察研究～」という臨床研究を行っています。そのため、当科で慢性閉塞性肺疾患に対する治療を受けられた患者様の診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。

なお、この研究は、近畿大学医学部倫理委員会 (<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>) で審査・承認を受け、医学部長による実施の許可を受けて行われます。

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

この研究では、超音波診断装置を用いた横隔膜の機能と、胸部 CT 画像を用いて評価可能な背筋の面積（脊柱起立筋横断面積）との関連を明らかにすることをについて調べることを主な目的としています。そのため、当科で慢性閉塞性肺疾患に対する治療を受けられた患者様のうち、2018年から2024年までに超音波診断装置を用いた横隔膜変位量の測定を受けた者で、横隔膜変位の測定より前後6か月以内に以下の検査と測定を受けた者：

- (1) スパイロメトリー、(2) 胸部 CT 撮影、(3) 運動耐容能（6分間歩行距離）

上下肢筋力に影響すると考えられる骨・関節疾患や身体機能評価が不可能な膠原病関連疾患を有する者（重度の強皮症、有痛性の多発性筋炎・皮膚筋炎などの皮膚疾患）や脳血管疾患（神経学的に明らかな異常を呈する者：感覚障害や運動麻痺）の合併 や必要なデータが欠損している者やそれ以外に研究責任者が本研究への参加が不相当と判断した者は除外とします。

上記の方を対象として、診療情報のみを研究に利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないようにした上で、個人情報に関しては、厳重に管理します。なお、それらの情報を他の機関へ提供することはありません。

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目（実際に利用する項目を記載、「等」は使用しない）

- カルテ情報（年齢、性別、診断名、臨床病期、治療方法、予後に関する情報等）
- 各種検査結果（血液検査・細菌検査・病理学的検査・画像検査等）
- 近畿大学病院 リハビリテーション部にて管理している理学療法士が、リハビリテーション時に実施した、超音波診断装置を用いて評価した横隔膜機能に関する情報を使用します。

③ 利用又は提供を開始する予定日

この研究は近畿大学医学部長の許可日から1年間行います。

④ 利用する者の範囲

利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報 は削除します。

また、研究成果は学会等で公表予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。情報の二次利用の可能性はあります。

⑤ 試料・情報の管理について責任を有するものの氏名又は名称

近畿大学病院 リハビリテーション部 部長 東本 有司

⑥ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨

この研究では、患者様・ご家族様の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合に、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。ただし、利用又は提供開始日より 1 年間が経過した時点以降にお申し出いただいても利用を停止することはできませんので、

ご了承ください。

⑦ ⑨の研究対象者等の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

[お問い合わせ先]

近畿大学病院リハビリテーション部 白石 匡

電話：072-366-0221（内線：5103） FAX：072-365-7161

以上